

船舶インシデント調査報告書

平成29年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成28年3月6日 07時10分ごろ
発生場所	青森県 ^{あしがさわ} 鰺ヶ沢町鰺ヶ沢漁港西方沖 鰺ヶ沢港北防波堤灯台から真方位288° 1.2海里付近 (概位 北緯40° 47.4′ 東経140° 11.1′)
インシデントの概要	プレジャーボート ^{イーグル アイズ} Eagle Eyesは、航行中、主機の運転ができなくなって運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成28年3月7日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Eagle Eyes、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	212-5700青森、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 2 海象：波高 約1m
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人4人を乗せ、釣りの目的で鰺ヶ沢漁港を出港して航行中、同漁港西方沖において主機が停止したので、118番通報を行って救助を要請し、来援した漁船にえい航されて鰺ヶ沢漁港に帰港した。</p> <p>本船は、本インシデント後、機関修理業者による主機の開放点検が行われ、シャフトシール部から海水が浸入した痕跡がなく、潤滑油が規定量入っていたが、ドライブシャフトのベアリングが焼き付いていたことが判明した。</p>
分析	<p>本船は、航行中、主機のドライブシャフトのベアリングが焼き付いたことから、主機が停止して運転できなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、シャフトシール部から海水が浸入した痕跡がなく、潤滑油が規定量入っていたので、主機のドライブシャフトのベアリングが焼き付いた状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本インシデントは、本船が、航行中、主機のドライブシャフトのベアリングが焼き付いたため、主機が停止して運転できなくなったことにより発生したものと考えられる。